

C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
									H26	H27	H28	H29	H30		
4-C1	街路	一般	北九州市	直接	北九州市	ホーム上屋等景観整備事業	ホーム上屋 防風スクリーン 約3,100㎡ 約340m	北九州市						435	
合計													435		
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考
4-C1	景観性や快適性の向上を図り、まちのシンボルやにぎわいの核を創出する。														

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
									H26	H27	H28	H29	H30		
														0	
合計													0		
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考

	H26	H27	H28	H29	H30
配分額 (a)	616	1,414	4,536	3,025	
計画別流用 増△減額 (b)	132	0	0	226	
交付額 (c=a+b)	748	1,414	4,536	3,251	
前年度からの繰越額 (d)	851	424	36	738	
支払済額 (e)	1,176	1,802	3,834	2,018	
翌年度繰越額 (f)	424	36	738	1,971	
うち未契約繰越額 (g)	356	4	738	1,971	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	22.3%	0.2%	16.1%	49.4%	
未契約繰越＋不用率が10%を超えている場合その理由	地盤が想定以上に固かったことにより、年度内での工事竣工が困難となったため。				
	家屋近接箇所における鉄道高架工事において、地元調整に不測の日数を要し、一部工事の着手が困難となったため。				
	関係機関との調整が難航し、一部工事の着手が困難となったため。				

※ 平成26年度以降の各年度の決算額を記載。
 ※ 平成28年度は、決算額が確定でき次第記載。

計画の名称	4 折尾駅周辺地区における連続立体交差事業の推進による活力あるまちづくり	
計画の期間	平成26年度～平成30年度(5年間)	交付団体 北九州市



社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称:折尾駅周辺地区の快適性かつ利便性を高め、西部地域の都市拠点として魅力

あるまちづくりを支援する道路整備[折尾地区(JR筑豊本線、鹿児島本線)]

事業主体名:北九州市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との適合等	
1)上位計画等と整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応	
1)地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
2)まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3)目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
4)指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
④事業の効果	
1)十分な事業効果が確認されている。	○
2)事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意	
1)まちづくりに向けた機運がある。	○
2)住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
3)継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
⑥円滑な事業執行の環境	
1)計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○